

令和7年度 第4回市政懇談会(北河原地区) 当日のご意見等と回答の要旨

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
1	<p><b>【農業政策について】</b></p> <p>事前要望について、要約されてしまうと言いたいことがよくわからなくなってしまうので、全文を載せていただいたのがとても良かった。</p> <p>農業に関しての質問に対し農政課の回答がずれている。大規模農家は国も支えていきたい、補助金も出したいというのは分かる。それは青地ではできるが、北河原地区は白地がほとんどで、耕作放棄地だらけになっている。それを地元の小さな農家が必死に支えている。その小さな農家もやめていくことになれば、確実に太陽光発電と耕作放棄地になっていく。あと5年ほどで大変なことになる。景観や地域住民の生活、そういう視点での農業政策を考えてもらいたい。大規模化とスマート農業だけではやりきれない。小規模農家にも力を入れて、国の方針ではなく行田市ならではの方針を出して行ってほしい。小規模・白地農家を支えて欲しい。農政課も農業委員会も大変なので人員を増やしたほうが良い。</p>	<p>農政課 (市長)</p>	<p>農業の全体的な流れはスマート農業、大規模化でありますけれども、やはり地域社会、景観等も含めて守っていくという意味での農業をしっかりと支えてくださっている農家さんに対しても、市として何ができるのかしっかりと勉強しながら考えていきたいと思えます。</p> <p>まず、農家さんとの意見交換会をぜひやっていきたいと思っています。今年度中にやりたいと思っていますので、よろしく願いいたします。農業は基幹産業ですと胸を張って言えるようにしていきたい、蘇らせたいと私は思っています、そのための市役所の中の組織というものも色々考えていきたいと思っています。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
2	<p><b>【女性活躍について】</b></p> <p>自治会や公民館運営委員会などもほとんど男性である。そういう雰囲気は田舎にはあり、女性は嫌だと思ふ。だから都会に行ってしまう。田舎の風習を直していかないといけないと思ふ。</p>	<p>人権・男女共同 参画推進課 (市長)</p>	<p>女性活躍については、まず、できることからということで、市役所では色々な委員会や審議会がありますけれども、その委員は4割は女性にするように、今、意図的にやっているところでもあります。できるのかと思ったのですが、やればできるといことが分かりました。皆さんも、だんだんやってくると慣れてきております。</p> <p>そして、行田市は消滅可能性自治体という指摘を受けております。20代、30代の女性が流出する、それが消滅可能性自治体ですが、なぜ流出するのかといいますと、色々理由はあるかと思いますが、ひとつあるのは、女性あまり社会に出てはいけないというような風土、とても窮屈だという声もあると思ふます。それはすぐには変えられませんが、それぞれの地域で意識をしていかないと、特に女性は住み続けてくれないというふうに思っております。</p>
3	<p><b>【学校統合について】</b></p> <p>パブリックコメントで段階的に5校にしていってほしいと提案した。3校というのは1,600人規模となるが、普通の高校でだいたい800人なのでその2倍である。教室の数など具体的に考えていくと、色々な問題が生じてくる。今後具体的なことについて詰めていかなければならないが、その時には、地域の住民の意見を聞いて、委員会を作ってやっていくことが大事であると思ふ。</p>	<p>教育総務課 (市長)</p>	<p>市、教育委員会としては3校が適正規模であると考えております。これからBブロックから始めていくということではありますが、それぞれの学校をどのようなものにしていくのかというところを、まず、色々意見があると思ふますが、とにかく地域の皆様の意見を聞いて、地域の皆様と一緒に作り上げていく、というふうに教育委員会とやっていきたいと思っております。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
4	<p><b>【農業政策についての要望】</b> 全国的に農地が荒地になっている。理由は高齢化や人手不足である。今、農林水産大臣が変わり、それに対してメスを入れようとしている。行田市としても大臣に意見を言っていたきたい。</p>	農政課 (市長)	ご要望を承りましたので、そのような機会をつくりたいと思います。
5	<p><b>【宿泊補助金について】</b> 高齢者の宿泊補助金をぜひ出してほしい。</p>	健康課 (副市長)	<p>高齢者の方への宿泊補助金は、以前に制度がございまして、市民の方に多く利用していただきましたが、事前要望に対する回答にあるとおり、過去の経緯がございまして現在の助成制度となっております。75歳以上になりますと、後期高齢者になり、国民健康保険の宿泊制度が使えないなどありますので、現在は「ゆったりあったか元気倍増事業」ということでやらせていただいております。ご意見は今後、事業の参考とさせていただきます。</p>
6	<p><b>【公民館について】</b> 公民館のトイレを洋式にしてほしい。なるべく早くお願いしたい。外壁が非常に汚れているのできれいにしてほしい。北河原小がなくなって残念で寂しい思いをしている。せめて公民館をきれいにしてもらって楽しく集えるようにしてほしい。</p>	中央公民館 (副市長)	<p>公民館のトイレにつきましては、確認して検討いたします。</p> <p>外壁につきましては、どこの公民館も古くなっております。耐震化は全て終わっておりますが、見栄えの問題とか内装も古くなってきます。今後の地域の拠点というのはやはり公民館になってくるといふ市長の話もありました。避けて通れない学校再編の中で地域の活性化や地域コミュニティ維持は公民館が中心になってくると考えておりますので、十分意識しながら進めていきたいと思っております。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
7	<p><b>【北進道路について】</b></p> <p>北進道路は途中までできている。北河原まで延伸してほしい。市の健全財政は大事だが、北河原を陸の孤島にしないようお願いしたい。</p>	<p>道路治水課 (副市長)</p>	<p>さきほど市長も申し上げましたが、必要な投資はやっていかなければならないということで、現在行田市の財政状況は他市と比べても非常に良い状況になっていると言えます。必要な投資については、躊躇せずにできるようなレベルなので、皆さんからご要望いただきながら、しっかりと市民の皆さんに還元するようなかたちで事業を進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
		<p>道路治水課 (建設部長)</p>	<p>北進道路の進捗、今後の進め方ですが、現在は犬塚地区まで完了しているところです。そこから北に向かって利根川沿いの県道の酒巻までを三期区域として、今埼玉県で実施しているところでございます。現在の進捗としますと、今年度は埼玉県で用地買収を行い、用地買収が済み次第、手続きを経て事業着手という説明を受けております。また、今年度県からは、用地買収面積を全体の約90%を目指しますと説明を受けております。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
8	<p><b>【氾濫危険区域について】</b></p> <p>酒巻・須加・利根川沿線が氾濫危険区域と指定されているが、指定するに当たって4～5年前にやすらぎの里で説明会があった。その時に、地域住民の生命と財産を守るために、当時スモールシティ構想があるので、全体的に集団移転してもらおうというような話があった。今の進捗状況、その後の話はどのようになっているのか聞きたい。</p>	<p>都市計画課 (副市長)</p>	<p>利根川の周辺が浸水の恐れがあるということで、開発行為などの制限がかかるというお話だったと思います。やすらぎの里での説明会について、詳しくは今申し上げられないのですが、当時どのようなお話があったかというのも含めてのご意見かと思えます。</p> <p>今、行田市の考え方といたしますと、コンパクトシティという考え方はないわけではないのですが、コンパクトシティ&amp;ネットワークということで、それぞれの地域、行田の場合では旧村が合併して行田市になっているという事情もございまして、北河原地区も須加地区も南河原地区のそうだと思いますが、それぞれのコミュニティがあります。そのコミュニティを生かしつつ、その交通手段などを強化してコンパクトシティ&amp;ネットワークという形の考え方を取らせていただいているところでございます。ですので、今の考えとしては、北河原地区の皆様とか旧村の皆さんがどちらかに移転していただくという話ではないのかなというふうに、今のところ申し上げます。</p>
		<p>都市計画課 (建設部長)</p>	<p>当時、水害で氾濫するので土地利用をどうするかという説明会は行っております。その中で、市とすると、学校周辺や公民館周辺などコミュニティが形成されているところは、そのコミュニティを生かしつつ、それをネットワークでつなぐという形で行田の土地利用を考えていきますということのお話はさせていただいたと思っております。集団移転という話は私の中では記憶にはないのですが、市内全域を見渡した時に、水害から市民の皆さんの生命と財産を守っていくかたちで土地利用を考えていく中での説明会であったと感じております。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
	<p>規制がかかっていて、人間が住みにくい、開発がしにくいような規制になっているという説明だったが、住んでいる人間がいる以上、財産をどう守るかとしたときに、集団で移転があるんだという話だった。ネットワークで結ぶだけなら、移転も何もないということか。</p>	<p>都市計画課 (副市長)</p>	<p>当時の資料を再確認させていただきますが、現在、立地適正化計画というのがその後で作られておりまして、その中では、コンパクトシティ&amp;ネットワークという言葉を目記させていただき、地域のコミュニティは十分維持させていただきたいと、当然、移転が前提となるような計画にはなっていないということは、間違いなく言えることです。ですので、今現在発している立地適正化計画によれば、コンパクトシティという考え方はありますけれども、そこと離れた地域を公共交通等で結ぶという考え方をとっております。ですから、例えば北河原地区の皆さんの地域コミュニティを大切にするという考え方は踏襲しているというところでございます。</p>
9	<p>【ハザードマップについて】 利根川の堤防の拡張工事に伴って、拡張エリアの皆さんの移転はすべて済んでいるが、高規格になった時の堤防に対しての、ハザードマップの見直し等はあるのか。現在、3メートル以内で浸水するというハザードマップでそのエリアは家屋倒壊も指定されているが、高規格の堤防にあったようなハザードマップを作成する予定はあるか。</p>	<p>危機管理課 (建設部長)</p>	<p>現在、利根川の堤防強化事業を実施しております。堤防高から7エッジ、高さの7倍のところまでの用地買収をさせていただいて、国が用地を確保して堤防を強化しているというところです。ご質問の高規格堤防というのは、その前の20エッジだったと思うのですが、もっと広いエリアの高規格堤防の計画のことだと思うのですが、国の方が、そちらの計画をどうしているのか不明でございまして、この場ではお答えができませんが、その中でハザードマップの改正、7エッジの堤防が強化されてハザードマップのハザードのエリアは今の時点で変わってくるかどうかは、今私の方でお答えはできませんが、所管部署に話して調整させていただきます。</p>
		<p>危機管理課 (市長)</p>	<p>とても大切なことですので、しっかりと過去の状況もみながら調べて、そしてあらためてきちんと説明させていただきます。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
10	<p><b>【職員人事について】</b></p> <p>6月4日の学校再編の説明会で感じたことだが、2名の質問に対して役所の回答は勉強不足だった。2名の質問者は関連資料などを色々見てきて質問していたが、役所もきちんと勉強してくればきちんと答えられたのではないか。農政課の職員も2～3年で変わるという話だが、教育委員会も2～3年で変わるという話があった。この人だったらなんでも任せておけるというような人材を見つけて、その人はそれをずっとやってもらう。そのような人事をした方がいいと思うので、ぜひ検討してもらいたい。</p>	<p>人事課 (副市長)</p>	<p>市民の皆さんは色々なお考えや勉強されている方がいらっやって、それにきちんと返さなければいけないということがあります。市役所の人事は適材適所という形で行っていますが、非常に難しい部分が正直ございます。どちらかという市役所は、ゼネラリストといひまして、広く色々な仕事を経験させるという一面と、専門性の高い部署についてはスペシャリストがそこに長くいていただくという面は当然持っております。その辺は十分検討しながら毎年の人事異動に臨んでいるところでございます。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
11	<p><b>【耕作放棄地について】</b></p> <p>春頃に色々説明会を聞いたが、市や国は土地に関してあまり関わらない方向でいくと聞いた。耕作放棄地はそのままになるということだが、そういう認識でよろしいのか。石破総理は自給率を上げる、農業を増産すると言っているが、これは10年前位から言っている。増産するとか自給率を上げるとか言っているがリアリティがない。行田市は一切関わらないで今のままで、今後どのように国が求める自給率アップなどをしていくのか、また耕作放棄地をどうするか聞きたい。</p>	<p>農政課 (環境経済部長)</p>	<p>春頃に説明があったという土地の関係でございますが、利用権の設定というのが今まであったのですが、国の制度の変更で利用権というのが設定ができなくなってしまいました。先程、国の方針ということで、農地中間管理機構を利用した中間管理の方に任せるといような形での制度に一本化されたという説明があったかと思えます。市が農地に関して関わらないということでは全くございません。逆に、法律の改正で、昨年度から地域計画という地域ごとに話し合いをもって、農家の皆さんや市の職員、加須農林振興センター、農地中間管理機構、その他関係者が集まって、その地域の土地をどう担っていくのか話し合いの場を設けて、地域ごとに説明を行っておりまして、北河原地区、酒巻地区に関しましては5月16日に今年度の1回目の話し合いを行いました。今年度、もう1回やる予定でございます。市といたしましては大規模化を推進していますが、一方で特色ある農業も支援していきます。スマート農業の補助金を出していたり、昨年はカメムシの被害が大きかったので、今年はその防除の補助金を出して地域の農業を支えて行こうという形で取り組んでおります。</p> <p>ですから、市として地域の農業、農地に関して関わらないということは全くなくて、逆に今、人が足りないくらいの感じて地域を回って意見を伺いながら、農業のあり方を考えているところでございますので、また、今後のご相談等ございましたら農政課までお声がけいただければと思います。</p>
	<p>抽象的な意見、あれをやるこれをやるというのはあるのだが、実際何が変わったのか。</p>		

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
	<p><b>【耕作放棄地について】</b></p> <p>市は耕作放棄地をどうするかという意見・案があるのか。高齢のためできなくなった農地などをまとめて市がやるというのは言いづらいかもしれないが、農業をやる団体や企業がいくつかあると思う。そういうところに一任して一括して行田市でやるのかという案もない。市は10年前から全然進歩していない。今後増えていくであろう耕作放棄地について、何か対策案があれば伺いたい。</p>	<p>農政課 (環境経済部長)</p>	<p>耕作放棄地に関しては、農政課と農業委員会で定期的にパトロールをして指導しているところでございます。耕作放棄地を増やさない方策として、その地域の農業を継続していくことが必要となってきます。市として何を行っているかと申しますと、先程申し上げましたが、農地中間管理機構で今後一本化になりますので、そことマッチングを行う場を地域計画で設定していく、それと地域での担い手の確保の為に、先程申し上げましたが、新規就農者の支援などを行っておりまして、地域の担い手の確保にも力を入れていきたいと思っております。そういった形で行田市の農業を継続できるようなかたちで進めてまいりたいと考えております。地域計画は昨年から始まりましたので、時間はかかるかもしれませんが、着実に取り組んでまいります。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
12		農政課 (市長)	<p>私としては、これまでの国・県・市それぞれの農業政策の延長線上ではもうダメなんだろうという問題意識があります。国は地域計画というものを作れという指示で、法律も改正されて、今市としては、個々の農家さんとお話をしながら、10年後どうしますかということをお聞きして情報を収集しそれを地図に落としていくという状況でございます。この地域計画を作ることの是非についても色々な意見がありますがけれども、法律で決まったことなのでやっています。</p> <p>良かったことは、今までよりきめ細やかに個々の農家さんとお話する機会が設けられたのかなと思っています。あと、中間管理機構ですけれども、これは色々まだ不十分な点はあるかと思いますが、中間管理機構というものをもっと生かして、耕作放棄地を減らしていく、そして新しい担い手さんがいるのであればお願いするというようなことをしっかりとやっていかなければならないという強い問題意識は市としても私としても持っています。とにかく今までの延長線上でやっていたら、農業は大変なことになる、つまり地域も大変なことになるという問題意識は全く一緒だと思います。また、色々国は現場のことをわかっていないと思うことも私も多々ありますので、ぜひ現場でのご意見をお寄せいただければと思っています。一緒に、行田の農業は胸を張って基幹産業だと言えるようなものにしていきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。</p>